

第03回 都地 崇恵 氏

- 講演者: 都地崇恵 氏 (東海大学)
 - 題目: Semi-local units modulo cyclotomic units for $p=2$
 - 日時: 2021年 7月 6日 (火) 15:00 ~ 16:00 (いつもと開始時間が異なります)
 - 場所: 東京理科大学野田キャンパス講義棟 K206 教室 (ハイブリッド開催、東京理科大学関係者のみ入場可)
 - [Zoom参加登録](#)

[seminar, 2021](#)

abstract

p を素数とし, アーベル体 k 上の円分 Z_p 拡大における半局所単数群と 円単数群のノルムによる逆極限をそれぞれ U と C とする. 剰余群 U/C の Galois 加群としての構造は p 進 L 関数と密接に関係している. $p=2$ も含めた任意の素数 p について, 拡大次数 $[k:Q]$ が p で割り切れない場合は岩澤, Gillard によって, U/C の Galois 加群としての構造が決定されている.

その後, この岩澤, Gillard の結果を, 講演者は p が奇素数で拡大次数 $[k:Q]$ が p で割り切れる場合に拡張した. 今回は, $p=2$ で拡大次数 $[k:Q]$ が偶数の場合に同様の結果が得られたのでそのことについて話す. また $p=2$ の場合と p が奇素数の場合の違いについても触れる.

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2021/03>

Last update: **2021/12/23 10:50**

